



## FUKUSHIMAものづくり 企業ファイル(No.2)

このコーナーでは、福島市に立地しているものづくり企業の知られざる魅力にスポットをあて、紹介します。

今回は「サンヨー缶詰(株)」さんです。

福島市民の味として親しまれているサンヨー缶詰さんは、今年で創業78年。手軽で保存性に優れ、私たちの日々の食卓に欠かせない缶詰。ナショナルブランドからプライベートブランドまで幅広く、グローバルに展開しています。

プライベートブランドには「まるごと福島の白桃」缶詰と「ふくしまの桃ゼリー」があり、8月に製造のピークを迎えます。福島名産の「モモ」の味覚を、季節を問わず、そして多くの方にPRできる製品です。



とびっきりのおいしさと安心を詰めて

サンヨー缶詰株式会社

### クローズアップ

注目の若手社員に  
インタビューしました！

#### 入社までの経緯は？

一度は他県で就職しましたが、福島に戻って食に関わる仕事をしたいと思い、Uターンし入社しました。

#### 仕事内容は？

品質管理です。ベテラン社員と相談しながら、最高品質を目指して日々研究に取り組んでいます。

#### メッセージをどうぞ

福島の安全でおいしい果実をぎゅっと閉じ込めた当社の商品、ぜひ多くの方に食べてもらいたいです。



(入社3年目)製造部所属  
管野 徹さん

### 【会社概要】

所在地：福島市仲間町(本社工場)、  
瀬上工場、山形工場の3  
工場

代表者：三枝 通晃

創業：1941年7月

資本金：1億5,492万円

社員数：260人

主要製品：モモ、ミカンなどの果実  
缶詰、みつ豆・混合果実  
缶詰、成型容器詰食品、  
レトルト食品など

■問／企業立地課 ☎525-3723



We Love♥ふくしま！

### 第18回『モモ』

あかつきが出回り、福島のモモの最盛期を迎えました。

福島っ子にとってモモは誇り。たわわに実った赤い果実が田園を飾り、店頭に並ぶと、とてもウキウキした気分になります。モモの話題には、みな妙に盛り上がります。

実は、モモは果物の中でも特別な存在です。古来、モモは邪気を祓い、お祝い事にふさわしい不老長寿を与えるものとして親しまれてきました。ひな祭りは別名「桃の節句」。旧暦3月3日はモモの花が咲く頃で、それを飾ることに由来しますが、モモの加護によって健やかな不老長寿を祈る行事ともされています。長崎では、「桃まんじゅう」や「桃カステラ」でお祝いしていたのを思い出します。

また、鬼退治をするのは「桃太郎」。悪に立ち向かうには、「梅」太郎とかではなく、「桃」太郎でなければならなかったのです。

一方、モモはアートとしての一面もを見せてくれます。県立美術館で9月1日まで開催の「やなぎみわ展 神話機械」では、市内果樹園で撮影した夜のモモの神々しい姿が衝撃的です。この作品をヒントに「夜の果樹園」を観光資源化しようとする試みが始まっています。本市ならではの個性的な感動の機会が創出されることを期待します。

こうした多様な魅力を持つモモだけに、おいしい生食だけでなく、スイーツや料理としても、魅力的な名物が多数出てきてほしいものです。

本稿執筆時点では、今年のモモは、サイズが大きく、甘さ、生産量とも十分とのこと。出来栄のいいモモの魔力とみんなの努力で、今年こそ、風評という鬼を退治していきましょう。

人々が引き寄せられ、ずっと住み続けたい「桃源郷」のような故郷をつくっていききたいものです。



福島市長 木幡 浩